

富山大学における学術論文の定義

令和元年6月25日
富山大学役員会決定

平成29年5月18日に富山大学における研究業績の取扱いが学長決定され、学術論文、著書・翻訳、総説・解説、紀要、学会(国内・国外)、シンポジウム等における研究発表、工業所有権(出願、特許権等)、芸術(作品)・体育系実績を研究業績として取り扱うことが定められた。

タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE) 世界大学ランキングにおいて、大学の研究力に高い比重が置かれており、引用文献データベースは、エルゼビア社の提供する「Scopus」が使用されている。富山大学では、研究の質を向上するために、「学術論文*」として、国際的学術データベースに登録されている学術雑誌への投稿を推奨する。一方でオープンアクセスジャーナル**の普及に伴い、著者から徴収する論文掲載加工料による収入のみを目的とし、掲載論文や出版の質の管理が粗雑である悪徳雑誌(predatory journal)への投稿が社会的問題となっている。そこで、富山大学として「研究の質を担保」していることを学内外に周知してゆくため、富山大学として取り扱う学術論文の定義を以下のとおり定める。

富山大学における学術論文の定義

「査読付き学術雑誌に掲載された原著論文***」と定義する。

- Web of Science, Scopus, PubMed(MEDLINE), SciFinder, MathSciNet に収録されている査読付き学術雑誌に掲載された学術論文
- 日本語で記載された論文は、査読付き学術雑誌に掲載された学術論文に限る。
- その他(各領域において質が保証された査読付き学術雑誌に掲載された学術論文)

※ 大学が、悪徳雑誌(predatory journal)と認める雑誌に掲載された論文は、学術論文には含めない。なお悪徳雑誌の認定は、Beall's List of Predatory Journals and Publishers を参考とする。

※ 査読のない論文・研究報告等は、富山大学における研究業績の取扱いの「学会(国内・国外)、シンポジウム等における研究発表」に分類するものとする。

用語説明

* 学術論文

学術雑誌（「査読制度を採用し、独創性のある最新の研究成果を伝える投稿論文を掲載する雑誌」（図書館情報学用語辞典）、「原著論文等の学術論文を主として掲載する定期または不定期の逐次刊行物」（JST 科学技術情報流通技術基準）に掲載されたもの

** オープンアクセスジャーナル

著者が論文掲載加工料（Article Processing Charge: APC）を支払うことなどにより、掲載論文がインターネット上に購読無料で公開される電子ジャーナル

*** 原著論文

学術雑誌に掲載され、学術的な研究により得られた知見を公表することを目的とし、完結した内容を含む論文（JST 科学技術情報流通技術基準）